

| | |
|--|-----|
| 学 部 | 文学部 |
| 学 科 | |
| カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針） | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・文化・言語の学習を中心とする伝統ある人文学を学ぶことができ、また現代社会の変化に対応するという点にも留意して体系的なカリキュラム編成や授業科目の配置を行う。 ・各学科において、ポリシーにそったカリキュラムを体系的に編成し、適切な授業科目を配置できるよう、学部の立場からも配慮する。 ・各学科に置かれた多数の科目を学部の教育資源と捉え、学生の科目選択において自由度の高い本学の制度を生かし、学生が自学科の科目のみならず他学科の科目も必要に応じて履修できるよう配慮する。 | |

| | |
|---|-----------|
| 学 部 | 文学部 |
| 学 科 | 日本語日本文化学科 |
| カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針） | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい日本語と奥深い日本文化を基礎から幅広く学び、将来に役立つ資格・技能の取得をめざし、3つのコースを設ける。 2. 視聴覚コミュニケーションコースでは、コミュニケーションに関する知識と教養を深め、口頭表現や文章表現の能力を高め、コミュニケーション産業で必要とされる能力を身につける。 3. ホスピタリティコースでは、ホスピタリティに関する知識と教養を深め、さまざまな実習や視察、インターンシップ等を通してホスピタリティ産業で必要とされる能力を身につける。 4. 日本語日本文化コースでは、日本語・日本文学・日本文化についての知識と教養を深め、国語科教員・日本語教員として必要とされる能力を身につける。 | |

| | |
|---|----------|
| 学 部 | 文学部 |
| 学 科 | メディア表現学科 |
| カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針） | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. イメージを形象化して伝達するための思考方法、及びコンピュータなどを利用した表現技法を学ぶことができる。 2. グラフィックデザイン、写真、アニメーション、映画、広告などの視覚文化領域に関する基礎的な知識と制作方法を学ぶことができる。 3. 視覚メディアをめぐる文化的社会的環境の変化に対する理解と批判能力を身につけることができる。 4. 「基礎」、「発展」、「応用・発表」に区分して段階的に習熟させる教育課程を採用し、理論と実践を有機的に連結させ、ゼミ活動を重視した実践的教育を行うことができる。 5. 学内に設置したギャラリーなどの展示空間において、作品、研究成果の発表を行い、評価を他者に求めるべく能動的な表現活動ができる。 | |